



名画に隠れた“秘密”と出会う。
ストーリー

2021年
7月3日(土) — 8月15日(日)
前期：7月3日(土)〜7月26日(月) 後期：7月28日(水)〜8月15日(日)
主 催 大阪歴史博物館、毎日新聞社、MBSテレビ
協 賛 DNP大日本印刷
出品協力 京都国立近代美術館

出品番号は、本展図録および会場内の番号と一致しますが、
展示の順序と必ずしも一致しません。
作品保護のため、会期中展示替えを行います。
展示期間の記載のないものは通期展示です。
出品番号80番と130番の制作年は、大正12年、昭和9年のどちらか
現時点で判断がつかなかったため、両方を「/」で記しています。
都合により、出品作品や展示期間に変更が生じる場合があります。
東京会場(閉幕)のみに展示され、
大阪会場には展示されない作品もあります。

出品目録

出品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵	展示期間
------	-----	-----	-----	----	------

1章 プロローグ 激動の時代を生き抜くためのパワーをもとめて(幕末〜明治)

1	曾我蕭白	美人図	江戸時代(18世紀)	奈良県立美術館	東京会場のみ出品
2	祇園井持	美人と幽霊図	江戸時代(19世紀)	東京国立博物館	8/4〜8/15
3	溪斎英泉	見立女三の宮図	文政後期〜天保(1820年代後半〜44年)	千葉市美術館	8/4〜8/15
4	歌川国芳	五代目市川海老蔵の民谷伊右衛門・三代目尾上菊五郎のお岩亡霊	天保7(1836)年	浅井コレクション	7/3〜8/2
5	歌川国芳	源頼光公館土蜘蛛妖怪図	天保14(1843)年頃	浅井コレクション	7/3〜8/2
6	歌川国芳	城四郎長茂空中に怪異を見る	嘉永2〜4(1849〜51)年頃	浅井コレクション	通期
7	月岡芳年	美勇水滸伝 高木午之助	慶応2(1866)年	町田市立国際版画美術館	7/3〜7/19
8	月岡芳年	美勇水滸伝 黒雲皇子	慶応3(1867)年	町田市立国際版画美術館	7/21〜8/2
9	月岡芳年	美勇水滸伝 將軍太郎平良門	慶応3(1867)年	町田市立国際版画美術館	7/21〜8/2
10	月岡芳年	魁題百撰相 辻弥兵衛盛昌	明治元(1868)年	町田市立国際版画美術館	7/21〜8/2
11	月岡芳年	魁題百撰相 堀井恒右エ門	明治元(1868)年	町田市立国際版画美術館	7/3〜7/19
12	月岡芳年	魁題百撰相 鈴木孫市	慶応4〜明治2(1868〜69)年	町田市立国際版画美術館	7/3〜7/19
13	月岡芳年	魁題百撰相 鳥井彦右エ門元忠	慶応4〜明治2(1868〜69)年	町田市立国際版画美術館	7/21〜8/2
14	落合芳幾	『東京日々新聞』892号	明治7(1874)年12月	毎日新聞社新屋文庫	7/3〜7/19
15	落合芳幾	『東京日々新聞』1045号	明治8(1875)年8月	毎日新聞社新屋文庫	7/21〜8/2
16	月岡芳年	『郵便報知新聞』532号	明治8(1875)年4月	毎日新聞社新屋文庫	7/3〜7/19
17	月岡芳年	『郵便報知新聞』589号	明治8(1875)年4月	毎日新聞社新屋文庫	7/21〜8/2
18	河鍋晩斎	地獄極楽図	明治時代(19世紀)	東京国立博物館	8/4〜8/15
19	安本亀八	白瀧姫	明治28(1895)年頃	桐生歴史文化資料館	通期

2章 花開く個性とうずまく欲望のあらわれ(明治〜大正)

2章-1 愛そして苦悩——心の内をうたう

20		鳳(与謝野)晶子『みだれ髪』(東京新詩社、明治34年) 藤島武二 装幀	明治34(1901)年	明星大学	通期
21	藤島武二	音楽六題 三味線、ヴァイオリン、鼓、笛、琵琶、ピアノ	明治34〜39(1901〜06)年	公益財団法人 ひろしま美術館	前期：鼓、琵琶、笛 後期：三味線、ヴァイオリン、ピアノ
22		与謝野鉄幹・晶子『毒草』(本郷書院、明治37年) 藤島武二 口絵	明治37(1904)年	千葉市美術館	通期
23	藤島武二	婦人と朝顔	明治37(1904)年	個人蔵	通期
24	藤島武二	夢想	明治37(1904)年	横須賀美術館	通期
25		『明星』巳年1号 藤島武二 表紙絵	明治38(1905)年	千葉市美術館	通期
26		『明星』午歳1号 藤島武二 表紙絵	明治39(1906)年	千葉市美術館	通期
27	ダンテ・ガブリエル・ロセッティ	マドンナ・ピエトラ	1874年	郡山市立美術館	通期
28	カルロス・シュヴァーベ	『薔薇十字協会第1回展』ポスター	1892年	川崎市市民ミュージアム	7/3〜7/19
29	アルフォンス・ミュシャ	『ジスモンダ』ポスター	1895年	三浦コレクション、川崎市市民ミュージアム	7/21〜7/26
30	アルフォンス・ミュシャ	『ジョブ(1898)』ポスター	1898年	三浦コレクション、川崎市市民ミュージアム	後期
31	アルフォンス・ミュシャ	『サラ・ベルナール主演『ラ・トスカ』』ポスター	1898年	三浦コレクション、川崎市市民ミュージアム	前期
32	エドワード・バーン＝ジョーンズ	フラワーブック 天国の薔薇	1905年	郡山市立美術館	7/3〜7/19
33	エドワード・バーン＝ジョーンズ	フラワーブック ヴィナスの鏡	1905年	郡山市立美術館	7/21〜7/26
34	エドワード・バーン＝ジョーンズ	フラワーブック もつれた愛	1905年	郡山市立美術館	7/21〜7/26
35	エドワード・バーン＝ジョーンズ	フラワーブック 魔法使いの木	1905年	郡山市立美術館	後期
36	エドワード・バーン＝ジョーンズ	フラワーブック 目覚めて、愛しい人よ!	1905年	郡山市立美術館	後期
37	エドワード・バーン＝ジョーンズ	フラワーブック 白い庭	1905年	郡山市立美術館	7/3〜7/19

出品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵	展示期間
38	エドワード・バーン＝ジョーンズ	フラワーブック 誤ったマーキエリー	1905年	郡山市立美術館	7/21～7/26
39	田中恭吉	太陽と花	大正2(1913)年	和歌山県立近代美術館	後期
40	田中恭吉	焦心	大正3(1914)年	和歌山県立近代美術館	7/3～7/19
41	田中恭吉	病児	大正3(1914)年	和歌山県立近代美術館	7/21～7/26
42	田中恭吉	冬蟲夏草	大正3(1914)年	和歌山県立近代美術館	後期
43	田中恭吉	死人とあとに残れるもの	大正3(1914)年	和歌山県立近代美術館	7/3～7/19
44	田中恭吉	緋はれゆく 歓喜と悲愁	大正4(1915)年	和歌山県立近代美術館	7/21～7/26

2章-2 神話への憧れ

45	青木繁	黄泉比良坂	明治36(1903)年	東京藝術大学	前期
46	青木繁	運命	明治37(1904)年	東京国立近代美術館	後期
47		岩野美術「夕潮」(日高有隣堂、明治37年) 青木繁 表紙絵「海底の神」、挿絵「神秘」	明治37(1904)年	県立神奈川近代文学館	7/3～7/19:表紙 8/4～8/15:挿絵
48	青木繁	大穴牟知命	明治38(1905)年	石橋財団アーティゾン美術館	東京会場のみ出品
49	青木繁	日本武尊	明治39(1906)年	東京国立博物館	8/4～8/15
50	青木繁	《わだつみのいるこの宮》下絵	明治40(1907)年	栃木県立美術館	7/3～8/2

2章-3 異界との境^{はざま}

51	月岡芳年	和漢百物語 清姫	慶応元(1865)年	町田市立国際版画美術館	7/28～8/2
52	月岡芳年	新形三十六怪撰 清姫日高川に蛇体と成る因	明治23(1890)年	町田市立国際版画美術館	8/4～8/15
53	村上華岳	日高河清姫図 [重要文化財]	大正8(1919)年	東京国立近代美術館	前期
54	橘小夢	安珍と清姫	大正末(1926)頃	弥生美術館	前期
55	木村斯光	清姫	大正末期	笠岡市立竹喬美術館	通期
56	小林古径	清姫 日高川	昭和5(1930)年	山種美術館	東京会場のみ出品
57	小林古径	清姫 鐘巻	昭和5(1930)年	山種美術館	東京会場のみ出品
58		「新小説」5年3巻 泉鏡花「高野聖」 梶田半古 口絵	明治33(1900)年2月	県立神奈川近代文学館	前期
59	鏑木清方、安田靉彦	高野聖、想夫憐の絵看板	明治37(1904)年	豊川閣妙嚴寺(豊川稲荷)	後期
60		泉鏡花「高野聖」(左久良書房、明治41年) 鏑木清方 口絵	明治41(1908)年	県立神奈川近代文学館	後期
61		「日本挿画選集」(ユウヒ社、昭和5年) 橘小夢「高野聖」	昭和5(1930)年	弥生美術館	前期
62	橘小夢	高野聖	制作年不明	個人蔵	通期
63		「苦楽」2巻9号 泉鏡花「高野聖」川端龍子 挿絵	昭和22(1947)年9月	個人蔵	通期
64		谷崎潤一郎「人魚の嘆き・魔術師」 (春陽堂、大正8年)「人魚の嘆き」 水島爾保布 口絵、扉絵、挿絵	大正8(1919)年	弥生美術館	前期:口絵、扉絵、挿絵(商人と人魚) 後期:挿絵
65		「ステューディオ」創刊号 オープリー・ヴィンセント・ピアズリー 挿絵「オスカー・ワイルド『サロメ』より 『おまえの口に口づけしたよ、ヨカナーン』 「楽劇『ジークフリート』第2幕」	1893年4月	東京国立近代美術館	前期:おまえの口に口づけしたよ、 ヨカナーン 後期:ジークフリート
66		「白樺」1巻3号 オープリー・ヴィンセント・ピアズリー 挿絵「オスカー・ワイルド『サロメ』より 『舞姫の得たるかづけもの(踊り手への褒美)』 裏表紙絵「メッサリナ」	明治43(1910)年6月	県立神奈川近代文学館	7/28～8/2:裏表紙 8/4～8/15:挿絵
67		「白樺」2巻9号 オープリー・ヴィンセント・ピアズリー 挿絵「オスカー・ワイルド『サロメ』より 『ヨハネとサロメ(ヨカナーンとサロメ)』 「同『サロメの化粧(II)』」	明治44(1911)年9月	個人蔵	7/3～7/19:ヨハネとサロメ 7/21～7/26:サロメの化粧
68		矢部季詩画「香炎華」(大正8年) 扉絵	大正8(1919)年	弥生美術館	前期
69	鏑木清方	妖魚	大正9(1920)年	福富太郎コレクション資料室	通期
70		「日本挿画選集」(ユウヒ社、昭和5年) 大橋月皎「ある夢」	昭和5(1930)年	弥生美術館	後期
71	橘小夢	水妖	制作年不明	個人蔵	通期
72		高島華宵 雑誌口絵「奇しき歌声」	制作年不明	弥生美術館	後期
73		紅葉山人(尾崎紅葉)「續篇金色夜叉」 (春陽堂、明治35年) 鏑木清方 口絵校合摺	明治35(1902)年	鎌倉市鏑木清方記念美術館	前期
74		尾崎紅葉原著・鏑木清方編画 「金色夜叉繪巻」(春陽堂、明治45年) 鏑木清方 挿絵	明治45(1912)年	鎌倉市鏑木清方記念美術館	前期
75		尾崎紅葉「尾崎紅葉全集」16巻 (中央公論社、昭和16年) 鏑木清方 口絵	昭和16(1941)年	鎌倉市鏑木清方記念美術館	後期

出品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵	展示期間
76		泉鏡花「続風流線」(春陽堂、明治38年) 鯉崎英朋 口絵	明治38(1905)年	弥生美術館	前期
77		名越國三郎画「初夏の夢」 (洛陽堂、大正5年)「水のほとり」 「泉に憩ひて」「波のさ、やき」「水連の花」	大正5(1916)年	弥生美術館	会期中頁替えあり
78	橋小夢	水魔	昭和7(1932)年	個人蔵	通期
79	橋小夢	若菜姫	大正8(1919)年	個人蔵	通期
80	橋小夢	刺青	大正12(1923)年/昭和9(1934)年	個人蔵	通期

2章-4 表面的な「美」への抵抗

81	波々伯部金洲	「三越呉服店」ポスター	明治40(1907)年	アドミューザム東京	前期
82	波々伯部金洲	「蜂印香窠葡萄酒」ポスター	明治末期～大正初期(1910年代初期)	アドミューザム東京	後期
83	北野恒富	「朝のクラブ蘭磨」ポスター	大正2(1913)年	アドミューザム東京	前期
84	杉浦非水	「三越呉服店 春の新柄陳列会」ポスター	大正3(1914)年	東京国立近代美術館	後期
85	北野恒富	淀君	大正9(1920)年	耕三寺博物館	通期
86	村上華岳	裸婦図 [重要文化財]	大正9(1920)年	山種美術館	東京会場のみ出品
87	速水御舟	京の舞妓	大正9(1920)年	東京国立博物館	8/4～8/15
88	島成園	無題	大正7(1918)年	大阪市立美術館	通期
89	島成園	鉄漿(おはぐる)	大正9(1920)年	大阪市立美術館	前期
90	梶原緋佐子	暮れゆく停留所	大正7(1918)年	京都市美術館	前期
91	梶原緋佐子	唄へる女	大正8(1919)年頃	京都国立近代美術館	後期
92	梶原緋佐子	古着市	大正9(1920)年	京都市美術館	東京会場のみ出品
93	梶原緋佐子	老妓	大正11(1922)年	京都国立近代美術館	前期
94	甲斐庄楠音	毛抜	大正4(1915)年頃	京都国立近代美術館	後期
95	甲斐庄楠音	畜生塚	大正4(1915)年頃	京都国立近代美術館	東京会場のみ出品
96	甲斐庄楠音	横櫛	大正5(1916)年頃	京都国立近代美術館	後期
97	甲斐庄楠音	横櫛	大正7(1918)年	広島県立美術館	後期
98	甲斐庄楠音	幻覚(踊る女)	大正9(1920)年頃	京都国立近代美術館	7/21～7/26
99	甲斐庄楠音	舞ふ	大正10(1921)年	京都国立近代美術館	7/28～8/2
100	甲斐庄楠音	春宵(花びら)	大正10(1921)年頃	京都国立近代美術館	7/3～7/19
101	甲斐庄楠音	裸婦	大正10(1921)年頃	京都国立近代美術館	前期
102	甲斐庄楠音	母	昭和2(1927)年	京都市美術館	前期
103	岡本神草	口紅	大正7(1918)年	京都市立芸術大学芸術資料館	前期
104	岡本神草	拳を打てる三人の舞妓の習作	大正9(1920)年	京都国立近代美術館	後期
105	岡本神草	仮面を持てる女	大正11(1922)年	京都国立近代美術館	前期
106	岡本神草	骨牌を持てる半裸女	大正12(1923)年	京都国立近代美術館	後期
107	稲垣仲静	猫	大正8(1919)年頃	星野画廊	通期
108	稲垣仲静	太夫	大正10(1921)年頃	京都国立近代美術館	前期
109	秦ナルヲ	女郎(花骨牌)	大正2(1913)年	京都国立近代美術館	後期
110	秦ナルヲ	血の池	大正6(1917)年頃	京都国立近代美術館	前期
111	秦ナルヲ	絶望	大正6(1917)年頃	京都国立近代美術館	後期
112	秦ナルヲ	池畔の女たち	大正7(1918)年頃	京都国立近代美術館	後期
113	秦ナルヲ	女たち	大正7(1918)年頃	京都国立近代美術館	前期
114	秦ナルヲ	母子	大正8(1919)年頃	京都国立近代美術館	前期
115	秦ナルヲ	妊みし女の喘ぎ	大正9(1920)年頃	星野画廊	前期
116	秦ナルヲ	恵まれた人々	大正12(1923)年頃	星野画廊	後期
117	秦ナルヲ	眠れる児	大正12(1923)年頃	京都国立近代美術館	後期
118	秦ナルヲ	自叙画譜	昭和12(1937)年	東京国立近代美術館	会期中頁替えあり

2章-5 一途と狂気

119	鍋木清方	深沙大王	明治37(1904)年	鎌倉市鍋木清方記念美術館	東京会場のみ出品
120	山岸荷葉題字、鍋木清方、 寺崎廣業、久保田米齋、 鯉崎英朋、武内桂舟画	不如帰の絵看板	明治38(1905)年	豊川閣妙嚴寺(豊川稲荷)	通期
121	鍋木清方	金色夜叉の絵看板	明治38(1905)年頃	鎌倉市鍋木清方記念美術館	東京会場のみ出品
122		尾崎紅葉原著・鍋木清方編画 「金色夜叉繪巻」(春陽堂、明治45年) 鍋木清方 挿絵	明治45(1912)年	鎌倉市鍋木清方記念美術館	後期
123	鍋木清方	刺青の女	大正2(1913)年頃	福富太郎コレクション資料室	通期
124	鍋木清方	薄雪	大正6(1917)年	福富太郎コレクション資料室	後期
125	北野恒富	道行	大正2(1913)年頃	福富太郎コレクション資料室	通期
126	上村松園	花がたみ	大正4(1915)年	松伯美術館	前期
127	上村松園	焰	大正7(1918)年	東京国立博物館	東京会場のみ出品
128	島成園	おんな(旧題名・黒髪の誇り)	大正6(1917)年	福富太郎コレクション資料室	通期

出品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵	展示期間
129	橋小夢	嫉妬	大正7(1918)年	個人蔵	通期
130	橋小夢	嫉妬	大正12(1923)年/昭和9(1934)年	個人蔵	通期

3章 エピローグ 社会は変われども、人の心は変わらず(大正末～昭和)

131	山名文夫	『カフェ・バア・喫茶店廣告圖案集』 誠文堂、昭和5年	昭和5(1930)年	資生堂企業資料館	通期(会期中頁替えあり)
132	萩島安二	絵葉書(BAR Broadway Ginza)	大正末～昭和初期(1920-30年代)	東京国立近代美術館	通期
133	萩島安二	マッチラベル(BAR QUAIL)	大正末～昭和初期(1920-30年代)	東京国立近代美術館	通期
134	萩島安二	マッチラベル(BROADWAY-BAR)	大正末～昭和初期(1920-30年代)	東京国立近代美術館	通期
135	萩島安二	灰皿(BAR BONTON)	大正末～昭和初期(1920-30年代)	東京国立近代美術館	通期
136		『女性』2巻6号 山六郎 コマ絵「妖姫タマル」	大正11(1922)年12月	個人蔵	通期
137		『女性』7巻1号 山六郎 表紙絵	大正14(1925)年1月	個人蔵	通期
138		『女性』4巻1号 山名文夫 コマ絵「アフロゲテの誕生」	大正12(1923)年7月	個人蔵	通期
139		『少女画報』14巻8号 高島華宵 表紙絵	大正14(1925)年8月	弥生美術館	後期
140		『少女の国』1巻10号 高島華宵 表紙絵	大正15(1926)年10月	弥生美術館	7/3～7/19
141		便箋表紙 高島華宵 表紙絵「サロメ」	大正末～昭和初期(1920-30年代)	弥生美術館	7/21～7/26
142		『少女画報』17巻4号 高島華宵 表紙絵「ぼらの園」	昭和3(1928)年4月	弥生美術館	東京会場のみ出品
143		『少女倶楽部』4巻12号 落谷虹児 口絵「夜会の仮装」	大正15(1926)年12月	弥生美術館	前期
144		『令女界』6巻7号 落谷虹児 口絵「碧き瞳」	昭和2(1927)年7月	弥生美術館	後期
145		『新青年』16巻2号 横溝正史「鬼火」 竹中英太郎 挿絵	昭和10(1935)年2月	個人蔵	前期
146		『新青年』16巻4号 横溝正史「鬼火」 竹中英太郎 挿絵	昭和10(1935)年3月	個人蔵	後期
147	小村雪岱	邦枝完二「おせん」挿絵原画 (『東京朝日新聞』『大阪朝日新聞』夕刊 第三回「虫」〔三〕10月3日)	昭和8(1933)年	資生堂アートハウス	東京会場のみ出品
148	小村雪岱	邦枝完二「おせん」挿絵原画 (『東京朝日新聞』『大阪朝日新聞』夕刊 第四回「虫」〔四〕10月4日)	昭和8(1933)年	資生堂アートハウス	東京会場のみ出品
149	小村雪岱	邦枝完二「おせん」挿絵原画 (『東京朝日新聞』『大阪朝日新聞』夕刊 第四三回「月」〔六〕11月24日〔東京〕/ 12月8日〔大阪〕)	昭和8(1933)年	資生堂アートハウス	前期
150	小村雪岱	邦枝完二「おせん」挿絵原画 (『東京朝日新聞』『大阪朝日新聞』夕刊 第五八回「夢」〔七〕12月12日〔東京〕/ 12月27日〔大阪〕)	昭和8(1933)年	資生堂アートハウス	後期
151	小村雪岱	おせん 傘	昭和12(1937)年	資生堂アートハウス	東京会場のみ出品
152	小村雪岱	おせん 庭先	昭和12(1937)年	資生堂アートハウス	前期
153		邦枝完二「絵入草紙おせん」 (新小説社、昭和9年) 小村雪岱 挿絵	昭和9(1934)年	個人蔵	通期
154	小村雪岱	邦枝完二「お傳地獄」挿絵原画 「お傳と浪之助」(『名作挿画全集第1巻』 平凡社、昭和10年のための)	昭和10(1935)年	埼玉県立近代美術館	後期
155	小村雪岱	邦枝完二「お傳地獄」挿絵原画 「浪之助と酌み交わすお傳」(『名作挿画全集 第1巻』平凡社、昭和10年のための)	昭和10(1935)年	個人蔵	前期
156	小村雪岱	邦枝完二「お傳地獄」挿絵原画 「大八を刺したお傳」(『名作挿画全集 第1巻』平凡社、昭和10年のための)	昭和10(1935)年	個人蔵	後期
157	小村雪岱	邦枝完二「お傳地獄」挿絵原画 「川に投げ込まれたお初」(『名作挿画全集 第1巻』平凡社、昭和10年のための)	昭和10(1935)年	個人蔵	後期
158	小村雪岱	邦枝完二「お傳地獄」挿絵原画 「刺青」(『名作挿画全集 第1巻』平凡社、 昭和10年のための)	昭和10(1935)年	埼玉県立近代美術館	前期
159		邦枝完二「お傳地獄」 (邦枝完二代表作全集第1巻、新日本社、 昭和11年) 小村雪岱 挿絵	昭和11(1936)年	個人蔵	前期
160		邦枝完二「お傳情史」 (邦枝完二代表作全集第2巻、新日本社、 昭和11年) 小村雪岱 挿絵	昭和11(1936)年	個人蔵	後期